

- 問1 2018年の統計において、東京国際空港（羽田）の年間旅客数は約8,000万人、成田国際空港は約4,000万人を記録し、これら東京圏の2つの空港を合わせた利用者数は一億二千万人を突破しています。この状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 格安航空会社（LCC）の利用が減少したことで、成田国際空港の旅客数は東京国際空港に比べて大幅に少なくなっている。
 2. 成田国際空港と東京国際空港は、国際線と国内線の拠点を分担しながら、世界有数の規模の旅客数を支えている。
 3. 成田国際空港が国内線の中心、東京国際空港が国際線の中心として機能しており、両者を合わせても利用者数は一億人に満たない。
 4. 東京国際空港の旅客数は成田国際空港の約2倍であるが、両空港とも旅客数より貨物輸送量の方が多いことが特徴である。
- 問2 高度経済成長期の日本では、都市部の人口過密を解消するために、郊外で「ニュータウン」と呼ばれる大規模な住宅地の開発が進められました。東京の多摩ニュータウンにおいて、1975年ごろに出生数がピークを迎えた主な要因として、当時の社会状況をふまえた適切な説明はどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
1. 都市部から移り住んだ若い世代による核家族世帯の入居が同時期に集中したため
 2. 地方から移住してきた高齢者による三世帯同居世帯が大幅に増加したため
 3. バブル経済の影響で、都心から郊外へ移住する高所得者層が急増したため
 4. 1990年代の少子化対策により、子育て支援制度が全国に先駆けて充実したため
- 問3 地方別の農業産出額の構成を示した統計において、野菜の占める割合が約40%と極めて高く、花きも約8%に達している一方、米の割合が10%台にとどまっている地方があります。このように、大都市という巨大な消費地に近い利点を生かし、新鮮な野菜や花などを生産して出荷する農業の形態を何といいますか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 抑制栽培
 2. 近郊農業
 3. 適地適作
 4. 促成栽培
- 問4 関東地方に位置するある県は、工業出荷額が約13兆円に達し、製造業の中でも特に印刷業の規模が大きいという特徴があります。また、農業面でも全国有数の産出額を誇り、米の産出額が東京都や群馬県を上回るこの県の名として正しいものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
1. 千葉県
 2. 埼玉県
 3. 茨城県
 4. 神奈川県
- 問5 千葉県木更津市の沿岸部において、かつての地形図では海であった場所に「築地」という地名や大規模な工場、港湾施設が確認できるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）
1. 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。
 2. 地球温暖化による海面低下の影響で、もともと海底だった場所が自然に陸地化したため。
 3. 大規模な干拓事業によって、農業用地としての利用を目的に海水を抜き取ったため。
 4. 地震による地盤の隆起によって、かつての浅瀬が広大な平坦地へと変化したため。
- 問6 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 滋賀県
 2. 群馬県
 3. 栃木県
 4. 福島県
- 問7 日本の主要な農業県のデータを比較した資料において、茨城県は「耕地一ヘクタールあたりの農業産出額」が全国平均を大きく上回り、トップクラスにランクされています。この数値から読み取れる茨城県の農業の特徴として、最も適切なものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 他県に比べて農地の価格が安いため、新規就農者が増加している。
 2. 一戸あたりの農地が非常に広いため、生産の総額が大きくなっている。
 3. 農業に従事する人口が極めて多く、労働力に頼った生産を行っている。
 4. 土地利用の効率がよく、限られた面積から多くの収益を上げている。
- 問8 ある地域の常住人口（夜間人口）に対する、昼間その地域にいる人口の割合を「昼夜間人口比率」と呼びます。東京都のように、この数値が100を大きく上回る都市において、人口がこのように変化する主な理由として適切なものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
1. 東京都は面積が狭く、1平方キロメートルあたりの人口密度が高いため
 2. 観光客が夜間に宿泊施設を求めて周辺の県へ移動するため
 3. 東京都の合計特殊出生率が周辺の県と比較して極めて高いため
 4. 周辺の地域から、仕事や通学のために多くの人々が移動してくるため
- 問9 日本の、ある地域における農業産出額の品目別割合について、野菜の割合が約41%と極めて高く、米（約17%）や畜産（約28%）を大きく上回っている地域があります。この地域の農業の名称と、その特徴として正しいものの組み合わせを選びなさい。（2016年 岩手県公立入試 類似）
1. 北海道の土地利用型農業：広大な土地を活用し、機械化を進めて大規模な経営を行う。
 2. 九州地方の促成栽培：温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜を通常より早く出荷する。
 3. 関東地方の近郊農業：大消費地に近い利点を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産する。
 4. 東北地方の銘柄米生産：広い平野と冷涼な気候を活かし、単作地帯として米の生産に特化する。
- 問10 標高約1000mに位置する群馬県嬬恋村と、海岸付近に位置する千葉県銚子市のキャベツ生産を比較したとき、嬬恋村の出荷時期における工夫として最も適切な説明はどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 大消費地に隣接している利点を活かし、鮮度を保つために一年中一定の量を出荷する。
 2. 冬の温暖な気候を活かし、他の地域よりも早い1月から3月に出荷を早める。
 3. 標高が高く雪が多いため、冬の間に温室ハウスを用いて出荷時期を春にずらす。
 4. 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。
- 問11 昼夜間人口比率は、ある地域の夜間人口に対する昼間人口の割合を示したものです。ある地域における「昼間人口」を算出するための正しい計算式として適切な説明はどれですか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）
1. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加える。
 2. その地域の夜間人口に、地域外へ通勤・通学する人を加え、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を引く。
 3. その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、さらに他市区町村から転入してくる人を引く。
 4. その地域の夜間人口に、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加え、さらに他市区町村へ転出する人を加える。
- 問12 東京湾の西岸から北岸の臨海部に位置し、東京都から神奈川県の横浜市、川崎市などを中心に広がる工業地帯の名称はどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）
1. 京葉工業地帯
 2. 北関東工業地帯
 3. 中京工業地帯
 4. 京浜工業地帯

答え合わせ・解説

問1	答え 2 成田国際空港と東京国際空港は、国際線と国内線の拠点を分担しながら、世界有数の規模の旅客数を支えている。	東京国際空港（羽田）は国内線の基幹路線を、成田国際空港は国際線の多くを担う形で役割を分担してきましたが、近年は東京国際空港の国際線増便なども進んでいます。これら2空港を合わせた年間旅客数は一億二千万人を超え、ロンドンやニューヨークと並ぶ世界最高水準の航空需要を抱えています。貨物量が旅客数を上回るという事実はなく、旅客輸送が中心です。
問2	答え 1 都市部から移り住んだ若い世代による核家族世帯の入居が同時期に集中したため	高度経済成長期、東京などの大都市圏では就職のために地方から若者が流入し、深刻な住宅不足と人口過密が問題となっていました。これに対応するため開発された多摩ニュータウンには、1970年代半ばにかけて、結婚を機に親と離れて暮らす「核家族」世帯が一斉に入居しました。同年代の若い夫婦が同時期に子育てを始めたため、特定の時期に地域の出生数がピークを迎えることとなりました。
問3	答え 2 近郊農業	東京都や横浜市などの大消費地を抱える関東地方では、輸送時間を短縮できる利点を生かし、鮮度が重要視される野菜や花きの生産に力を入れています。この農業形態は「近郊農業」と呼ばれ、他の地方に比べて野菜の産出額割合が非常に高いことが統計上の大きな特徴となっています。対して、米の割合が低いのは、農地が宅地化されたり、より収益性の高い野菜栽培へ転換されたりしたためです。
問4	答え 1 千葉県	千葉県は京葉工業地域を擁しており、工業出荷額が極めて高い一方で、近郊農業や稲作も盛んな県です。特に印刷業については、大消費地である東京都に隣接していることから、製本や印刷の工場が多く立地しています。農業面では、都市に近い利点を生かした野菜生産だけでなく、県北部を中心に稲作も広く行われています。
問5	答え 1 工業用地を確保するために、遠浅の海を埋め立てて人工的な陸地を造成したため。	木更津市の沿岸部における変容は、人為的な「埋め立て」によるものです。1960年代以降、日本の工業化を進める中で大規模な工場用地が必要となり、東京湾の遠浅な地形を利用して埋め立てが行われました。これにより、もともと海だった場所に工場や発電所が建設され、工業都市としての景観が形成されました。干拓は主に農業用地（水田）を作ることを目的とするため、工業用地主体の木更津市の事例には当てはまりません。
問6	答え 3 栃木県	栃木県は関東地方を代表する農業県の一つであり、米の産出額などの統計において、山形県や大分県といった各地方の主要な農業県と比較されることがあります。北関東の内陸部という地理的条件を活かし、水田単作地帯だけでなく、園芸農業も発展しています。同じ北関東の内陸県である群馬県は、からっ風を利用した畑作や畜産のイメージが強いのに対し、栃木県は平野部での安定した米作りが大きな特徴です。
問7	答え 4 土地利用の効率が高く、限られた面積から多くの収益を上げている。	「耕地一ヘクタールあたりの農業産出額」は、土地の生産性を表す指標です。茨城県はこの数値が高いことから、限られた農地を効率的に利用し、価値の高い作物を生産していることがわかります。これを「集約的」な農業と呼びます。単に産出額の総計を見るのではなく、面積あたりの効率を見ることが、その地域がどのような形態の農業（大規模で広範な農業か、小規模でも高付加価値な農業か）を行っているかを分析することができます。
問8	答え 4 周辺の地域から、仕事や通学のために多くの人々が移動してくるため	昼夜間人口比率は、夜間人口に対する昼間人口の割合を百分率で示したものです。東京都はオフィスや学校が集中しているため、昼間に周辺の県から通勤・通学者が流入し、昼間人口が夜間人口を大きく上回ります。逆に、住宅地が多い周辺の県（ベッドタウン）では、この比率が100を下回る傾向があります。
問9	答え 3 関東地方の近郊農業：大消費地に近い利点を活かし、新鮮さが求められる野菜などを生産する。	東京都などの巨大な消費地を抱える関東地方では、輸送コストを抑えつつ、鮮度が重視される野菜を市場に供給できる「近郊農業」が発達しています。そのため、全国平均と比較しても農業産出額における野菜の構成比が高く、4割を超えるという顕著な特徴を持っています。
問10	答え 4 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。	婦恋村は標高が高く、夏場でも気温が低いという地理的利点があります。平地の産地では気温が上がりがすぎてキャベツの品質が落ちる7月から10月の時期に、婦恋村は出荷のピークを合わせることで、市場における競争力を高めています。このように出荷時期を遅らせる栽培方法は、暖かい気候を利用して出荷を早める「促成栽培」とは対照的な特徴を持ちます。
問11	答え 1 その地域の夜間人口から、地域外へ通勤・通学する人を引き、地域外からその地域へ通勤・通学してくる人を加える。	昼間人口は、夜間にその地域に居住している人口（常住人口）をベースに算出されます。日中の人の動きを反映させるため、まず仕事や学校のために地域外へ出て行く「流出人口」を差し引き、次に他地域から仕事や学校のためにその地域へ入ってくる「流入人口」を足し合わせます。この結果、オフィス街のように流入する通勤者が多い地域では、昼間人口が夜間人口を大きく上回ることになります。
問12	答え 4 京浜工業地帯	東京の「京」と横浜の「浜」をとって名付けられた工業地帯であり、東京湾の西側に位置する。対岸の千葉県側に広がる京葉工業地域と混同しやすいので、県名や都市名（東京・神奈川・横浜・川崎）で区別することが重要である。